

「ミューニクススクール」ってなに？

第4回
「ミューニクススクール地域学校
コーディネーターを紹介します」

北小学校コーディネーター

第三回に引き続き、コミュニティスクールの地域コーディネーターを紹介します。今回は北小学校です。

地域コーディネーターは、豊丘北小学校のニーズを把握し、教育委員会や公民館等の様々な機関との連携を密に、連絡、調整を行いながら、地域ボランティアの方々と繋げています。

今年度も保護者のボランティアの方々をはじめ、地域のボランティアの方々には、それぞれの場面でご協力をいただいています。ボランティアの皆さんの豊かな経験と技術を活かし、子

どもたちを教えていただきながら、安心して学習に取り組めるように見守り、応援していただいています。

北小学校の伝統あるお囃子子ども会をはじめ、五年生のお米作り、花壇や田畑の整備、絵本の読み聞かせ、書写、水泳、陸上、音楽、家庭科など、様々な場面で学校からの要望をもとに、多くのボランティアの方々に関わっていただいています。

今年は新たに音楽会の練習で、音楽ボランティアの方に熱心にご指導いただきました。また、公民館との

夏休みの企画では、毎年行われていた「北小夏季スクール」を、今年度より公民館主催の夏休み子どもウィークス事業の一環として「ゆめスタ北小」と名前を変更し、豊丘北小学校を会場として開催しました。



が、安心・安全な環境で学習することができました。日々多くの地域ボランティアの方々に支えられ関わっていただくことで、豊丘村の子どもたちが、心豊かに成長できることを願っています。

昭和歌謡ブームと言われて久しい。ブームの中心はいわゆる「アイドル歌謡」と「シティポップ」のようだが、一九五三年生まれの私にとっての昭和歌謡は、学生時代に見聞きした、少し年上の妖艶な歌姫達の楽曲や「青春歌謡」、そして学園ドラマや青春ドラマの主題歌・挿入歌である。中でも印象に残っているのが、いしだあゆみの『ブルー・ライト・ヨコハマ』と由紀さおりの『夜明けのスカット』である。

今年三月七十六歳で亡くなったいしだあゆみ。彼女を一躍有名にしたのが『ブルー・ライト・ヨコハマ』。発売は一九六八年、私が中学三年生の時である。フィギュアスケートの選手だった

歌は世につれ～ 四十七話

私の昭和歌謡『ブルー・ライト・ヨコハマ』『夜明けのスカット』

上佐原 小池 光好

たいしだが華麗に滑りながら歌っていた姿が脳裏に焼き付いている。作詞の橋本淳は、当時の横浜の海は灯りがなく真っ暗だった、遠くに京浜工業地帯の灯りが青く光っていたのを眺めていて発想したという。作曲は、後にアイドル歌謡も数多く手がけた筒美京平。本楽曲で日本レコード大賞作曲賞を受賞した。



なくスカットだけの一番は衝撃的で新鮮だった。シンブルだけでも美しいメロディーや透き通った由紀の声も魅力的で印象深かった。大ヒットに至った火付け役はラジオの深夜番組だった。番組のオープニング曲として流されていたスカットのみのワンコーラスが話題となり、二番の詞を付けてレコード化することに。作詞を依頼された山上路夫は難しさに苦悩した。駄目出し続きの結果、徹夜。その時夜明けの空の色を見て「これだ」と思い、

一気に書き上げたという。豊かな叙情性によって心模様を表現したものが多かったと言われる昭和歌謡ストーリー性のある歌詞や美しく流れるような心地良いメロディーは、情感豊かで情緒があり、心に響く。想像する余白もあり余韻が残る。懐しい昭和歌謡を聴くと同時に引き戻され、物思いに耽ってしまう。

バウルとはこの地に息づく独特の民族音楽であるが、イスラム教神秘主義スーフィーや仏教のタントラ（密教）の宗教世界と共通しているといわれている。特に詩人のラロン・フォキールの詩が多く詠われているが抽象的で難解である。人間のからだをいくつもの部屋に例えた哲学的な不思議な世界もある…。

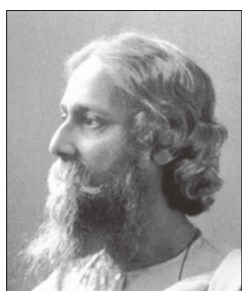


▲月夜の飛翔／彫画・福澤郁文

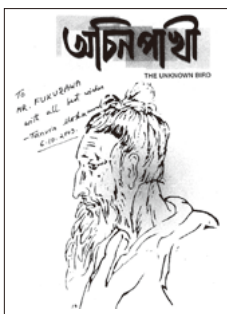
夢みた遠か地平線
その23
ベンガルの地に息づく
パウルの調べ
北市場「福澤郁文

なにか人間社会の私たちの人生を暗喩するような歌詞が多いところがあり、恋話などは民衆の人気を得ているらしい…。バングラの知識人に訳を頼むも、彼らにも難解で哲学的な散文詩が多いらしく、翻訳して伝えられないのです」と嘆く。

民の姿も、美しい映像のようだった。



▲ベンガルの詩聖タゴール



▲パウルの詩人ラロン

ゆめスタ 夏休み自習スペース
整った環境と経験
中学生ボランティア
豊丘中学校3年 清水友誠

夏休みにゆめあるてで開かれたゆめスタへ数多くの小学生、中学生が訪れ利用しました。その理由として二つが考えられます。

一つ目は、整った環境です。暑くならないようにエアコンをつけたり、分からない所をボランティアの人に聞くことができたなど勉強をするための環境が整えられていたことです。

二つ目は、宣伝です。いから環境を整えたところでゆめスタを知らなければいけません。なので、小学校・中学校でプリントを配布することで学生に知らせることができたのです。



ボランティアとしてでも利用者としてでもいいので参加してみてください。

こちら資料館(257)

白登作品の入札
販売会開催について

今年度の資料館特別展は「片桐白登とその弟子」展と題して、十月十一日(土)～十九日(日)の九日間、ゆめあるで」で行い、今年飯田創造館から譲渡された白登作品と、ご遺族から寄贈された白登の弟子の澤井白陽女史の作品を中心に展示することは既にお知らせしました。

この度、飯田の「昭雲堂表具店」様のご協力により、特別展に合わせ、昭雲堂様所有の白登作品の入札販売会を下記のように開催する運びとなりました。昭雲堂様は戦前から白登との親交が深く、作品の表装も数多く手掛けてこられたと聞いています。なお、経費を除いた収益は全額豊丘村に寄付されるということです。

一期日 十月十一日(土) 十月十九日(日)
二場所 ゆめあるで多目的室
三今回販売する作品
1 未表装作品
(表装代は落札者負担)
・書(十一点)
・絵(二十一、三点)

2 表装済作品
・色紙の軸装(二十点)
四入札手順(詳細は当日)
1 下見会
十二日～十七日
九時～十二時
十三時半～十五時
2 入札会 十八日
九時～十五時
落札者へ連絡
十六時～十八時
3 未落札作品の再入札
十九日九時～十一時
落札者へ連絡十二時、
五作品の引取り(代金引換)
十九日九時～十五時
*未表装作品については昭雲堂と必ず打ち合わせを行う。
以上

興味をお持ちの方、ご用意をお願いします。
(資料館主任 唐澤武彦)

三國清三(著) KADOKAWA
六月に行われた村制施行七十周年記念講演会のゲスト三國シェフの本人曰く「いちばん簡単でわかりやすい」料理本です。
YouTubeで公開したフランス家庭料理百三十六品を紹介しています。人気料理ベストテン、肉料理、魚介料理、スープ、前菜・つけ合わせ、麵・ご飯・パン、デザート…。それぞれの料理に合うワインのペアリングも紹介されており、料理が一層美味しく感じることでしょう。フレンチの巨匠の料理を自宅で再現し、本格的な味を堪能してみたいかがでしょうか。
(図書館 竹村 里香)

柳

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「保」 福沢勝美 選
災害が多くて保険掛けられず 山本 義彦
実らない若さを保つ努力など 林 もも子
軸吟：保身術上手い政治家末はぼろ
▼課題「巡」 互選
御朱印を福と信じて寺社巡り 原 美風
巡り違った因果が素で共白髪 福沢 勝美
▼自由吟 山本義彦 選
雑草と根気比べの野良の汗 西元 峯子
軸吟：朝の風猛暑の中に秋の風

心の種まき

親子の
読書ひろば

中芝 今村貴美子

子どもと大人三十六名の皆さんが来場されました。今から五年前、読解力に関わる議論を発端に誕生日図書の評価検証が行われ、その報告と読書の意味を問い直す催し「子ども読書のつどい」が開かれました。その願いを実践しようと、読書のつどい実行委員の所属する中芝読書会メンバーを中心に立ち上げたのが「親子の読書ひろば」です。今年度の読書ひろばは「小さい子どもたちに読み聞かせをして楽しんでもらいたい」と意欲的に集まった四人の中学生ボランティアが大活躍。子どもたちは中学生の読み聞かせに反応しながら笑顔で耳を傾けていました。また毎年継続している棕鳩十作品は、「赤いあしあと」を大型紙芝居で観ていただきました。最後はお待ちかねの歌のプレゼン。小石峯曉子さんの美しい声の響きに心を奪われるひと時でした。中学生ボランティアの皆さん、司会進行読み聞かせ

さんは次のように感想を寄せてくれました。
・とっても楽しそうな顔で聞いてくれて嬉しかった。
・久しぶりに読み聞かせをしてみて、すごく楽しかった。
・みんな上手に読み聞かせができていた。自分も頑張れたと思う。
・大人や子どもが楽しんでいるように見えてとても嬉しかった。またやってみたいなと思った。
足を運んでくださった皆さん、司会進行読み聞かせ

と大活躍の中学生ボランティアさん、小石峯さん他ご協力いただいたすべての皆さんに、心より感謝申し上げます。



と大活躍の中学生ボランティアさん、小石峯さん他ご協力いただいたすべての皆さんに、心より感謝申し上げます。

図書館だより

9月号

横顔の亡き友に似し夏の雲
角から溶けて氷像の踞る
あめんぼうの山家の池の犬所帯
ロイコペの藍の涼しき大暑かな
散ることを知らぬ紫陽花色尽くし
「とよおか短歌会」
雑草退治掻きても刈りても追い越され狭庭の向日葵小蔭を宿す
おうちにはおはながいっぱいいるひまわりさんとせいくらべした
名ばかりの梅雨と言えども日は照りて遠くの雷鳴耳立てて聞く
聞こえない待てど候補者なぜ来ないSNSのネットのしわざか
玄関の西洋紫陽花一輪が白く輝き盃蘭盆近し
雨上がりでで虫舗道を渡りおる轆かれないでよ種を残すため
色褪せて儚きいのちの紫陽花に陽は赤赤と未来をそそぐ
色褪せて儚きいのちの紫陽花に陽は赤赤と未来をそそぐ
毛涯百合子
「微積分」判らぬままに老いの坂もう間に合わぬ来世にしよう
福澤 亀人

帳簿漏れ

福沢文雄

私が徴兵検査を受けた時代は支那事変が始まるもつと前のころ、二・二六事件が起こったところよりさらに前の話。当時は東京で小学校の教師をしていた。その後、家庭的な事情で東京から長野県の故郷の学

校に転勤した。大東亜戦争が熾烈化してくると、周りの人々がどんどん召集されては戦場に出て行った。銃後に残って生産に従事していた男性たちは、現在の南小学校の校庭に集められては訓練を受けた。原芳文氏

が親玉だった。この特別訓練を受ける人にはちゃんと通知が来たが、私のところ

には一向にこない。教員だから特別扱いかな、などと勝手に参加していた。「匍匐前進」というのを徹底的にやらされた。何回か受けているうちに、高森のセイトという部落の吉川君が役場に勤務していたが召集が下ったという。どうも私の場合うんとおすんとも言っていないので、役場の係の方に調査してもらった。私の検査を受けた場所は東京の学校で、第一連隊所属だった。役場に届いた先方の返事は、そういう名前の

とよおか100年前

『豊丘村民話集』より

ものは帳簿に載っていないということだった。こういうのを、そのころ「帳簿漏れ」といった。つまり私という男は兵隊関係では存在しないということになった。私も驚いたし周囲も驚いた。こういうケースは一人くらいという。もつと比率が高かったかもしれない。というわけでもそれ以降、私は友達や周りの男性たちがもう訓練をしているのを、土手の上から眺めながら変な気持ちになったものだった。銃後にいて食料不足の苦労は十

分すぎるほど味わったが、戦場の経験は全くない。酒を飲んだ時など戦争体験の話となると、ただただ拝聴するのみだ。帳簿漏れとは全く持って不思議な話だ。書き落としたが検査のころ、病み上がりの体だったので短期現役(師範学校卒業の特例で兵役期間が短い)には行かなかった。

（豊丘村民話集・第三集）
（昭和五十三年）より）
文責：壬生雅穂

俳句短歌

9月号

片桐 洋子
森田 恵子
木下 真水
松岡 照子
宮下 純子
林 恵美子
丸山 時子

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.260

コガネグモ
(コガネグモ科)



今までに、ナガコガネグモ (No.50)、チュウガタコガネグモ (No.119)、セアカゴケグモ (No.239) を紹介してきたが、今月は科名にまでなっているコガネグモ。

ここで、昆虫とクモの違いを整理しておく。昆虫…頭、胸、腹の三部からなり、胸部に三対(六本)の脚がある。クモ…頭胸部と腹部



1/200 f14 +1.7 80mm ISO200



1/400 f13 77mm ISO250

朝霧は色温度が低いことから青味を帯びるのが普通



長時間露出 30 秒覆焼き f18 10mm ISO100

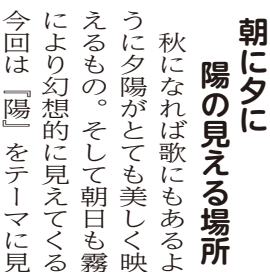
フォトマスタリー級 宮下正弘



三試合が行われ、すべて豊丘チームが勝利。特に「48オールスターズ vs S Avenue」や「旋麗 vs 上片桐シャークス」の試合は、高い技術と

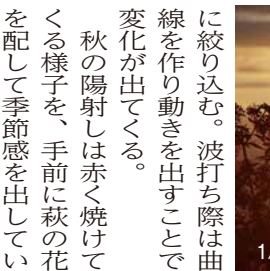


運動が得意な人も、苦手な人も一緒に楽しめるのが二十四時間ソフトの良いところだと思っています。大会運営に携わっていただいた実行委員、関係者、参加

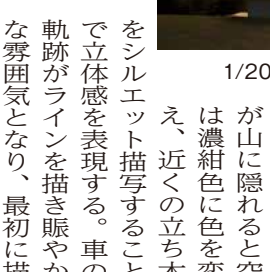


朝に夕に 陽の見える場所

秋になれば歌にもあるように夕陽がとても美しく映えるもの。そして朝日も霧により幻想的に見えてくる。今回は「陽」をテーマに見ることにする。



だが、霧が発生し太陽を隠すと表現は少し違ってくる。大鹿の釜沢地区の小渋川が陽に白く反射して輝くと朝霧の表現は変わってくる。少しケルビンを上げて黄味から橙色に表現することで朝焼けを表現した。望遠で川を引き寄せるよりも、この場の臨場感を出そうとして広めに山と木々を入れる。



1/20 f8 +1.7 40mm ISO100



だが、霧が発生し太陽を隠すと表現は少し違ってくる。大鹿の釜沢地区の小渋川が陽に白く反射して輝くと朝霧の表現は変わってくる。少しケルビンを上げて黄味から橙色に表現することで朝焼けを表現した。望遠で川を引き寄せるよりも、この場の臨場感を出そうとして広めに山と木々を入れる。



海辺の撮影は長野県人にとつて新鮮に見えるが、何処をどう切り取れば良いかに迷うところである。渚の潮の満ち引きを入れ太陽が赤く上り始めるに従い海水は様々な色に変化し、どの時間帯を見ても全て絵になる。注意することは水平線を傾けないこと、手前にピントを置いて適度



1/20 f8 +1.7 40mm ISO100

第三十七回二十四時間ソフトボール大会が、八月二十三日・二十四日の二日間にわたり開催されました。ここ二年間は雨天のため中止が続きましたが、今年は天候に恵まれ、無事に最後まで大会を行うことができました。

試合数は例年より少なめでしたが、給水タイムやグラウンド整備の時間を設けることで熱中症対策を行い、安心してプレーできる環境が整えられました。会場では、かき氷や浅漬けきゅうりを用意し、子どもたちに好評でした。恒例のホームラン賞やファインプレー賞も用意し、珍プレー・好プレーに歓声が上がると、会場は大いに盛り上がりました。

九月になり受験生にはこれからが正念場でしょうか。先日「外国につながる児童・生徒と保護者のための高校生」が獲得しました。

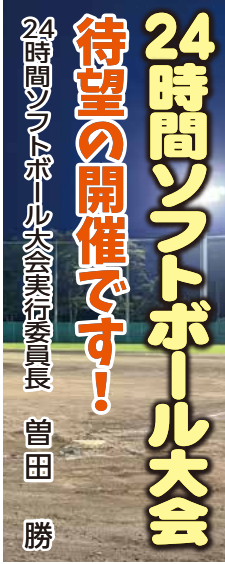
運動が得意な人も、苦手な人も一緒に楽しめるのが二十四時間ソフトの良いところだと思っています。大会運営に携わっていただいた実行委員、関係者、参加

ときもまた、知識ゼロに近いところから始めなければならぬため、このようなガイダンスは毎年必要となつていきます。

日本生まれのBさん(大一・ブラジル由来)は五歳までブラジル人学校に通っていたため、日本の保育園に入ったときは日本語が全然わからなかったとのこと。小学校で外国人という理由でいじめられたこともあったそうです。通っていた高校に今の大学の学校推薦枠がなかったため、オープンキャンパスで大学に直談判し、見事学校推薦枠をとりつけた！というエピソードもありました。

十二歳で来日したCさん(大一・フィリピン出身)、最初の二年間は日本語が全然できなくて、ジェスチャーでコミュニケーションをとっていた。そこから少しずつ話せるようになった。彼は高校時代はラグビーと美術に

打ち込み、今年卒業して地元企業に就職しました。将来は、「家族のおかげでここまで来れたから、家族にいい生活をかけてサポートしたい」と力強く話していました。



スピード感が光る好ゲームでした。「48オールスターズ」vs「S Avenue」は、今年の壮年ソフト長野県大会の決勝を戦い、「48オールスターズ」が優勝しております。全国大会でもその実力を存分に発揮してくれることを楽しみにしています。



進学ガイダンス」が飯田市であり参加しました。近隣から十家庭くらいの外国由来の方と通訳や支援者なども集まりました。

県高校教育課から高校進学全般についての説明や、外国由来の先輩数名のパネルトークなどがあり、最後はお菓子を食べながら交流できる時間でした。外国につながる子どもたちが日本で学校に通うとき、親も子も母国との学校制度や習慣の違いに戸惑いますが、義務教育を終え進路を考える

七歳で来日したAさん(高一・ネパール出身)は、中学校は最初つまらなかったけど、部活が楽しかったからそのために頑張っていたとのこと。高校生活は楽しく、将来は看護師になりたいという夢を持っています。

十二歳で来日したCさん(大一・フィリピン出身)、最初の二年間は日本語が全然できなくて、ジェスチャーでコミュニケーションをとっていた。そこから少しずつ話せるようになった。彼は高校時代はラグビーと美術に

打ち込み、今年卒業して地元企業に就職しました。将来は、「家族のおかげでここまで来れたから、家族にいい生活をかけてサポートしたい」と力強く話していました。

豊丘村公民館 SNS
フォロー&いいね お願いします!

TOYOOKA KOMINKAN